

**みやぎ東日本大震災津波伝承館において企画展
「発災15年 私が守れる命があるー1人ひとりが自ら守り、助け合い、制度で支えるー」
を実施します。**

1 概要

東日本大震災の発災から15年を迎えるに当たり、みやぎ東日本大震災津波伝承館において企画展を実施します。今回の展示では、「自助・共助・公助」の考え方をもとに、東日本大震災の事例を「自らの命を守る」「互いに命を助け合う」「制度で命を守る」の3つのテーマで紹介します。

本展示によって、来訪者が自ら命を守る行動について改めて考える場を提供し、防災意識の向上に努めます。

なお、本企画展は、みやぎ東日本大震災津波伝承館に勤務する解説員一人ひとりが、アイデアを出し合い制作を行いました。

報道機関の皆様におかれましては、取材について御協力をお願いいたします。

2 期間

令和8年3月3日（火）から3月31日（火）まで

3 場所

みやぎ東日本大震災津波伝承館（石巻市南浜町2丁目1-56）

4 展示内容等

展示写真・パネル（A1サイズ）16枚程度

5 取材対応

令和8年3月3日（火）10時から、本企画展を担当した解説員による展示解説を行います。



01

自らの命を守る

津波避難などの行動と、その場の意思決定。
発災前の備えまで含めて、命を守る選択をたどる。

02

互いに命を助け合う

学校・職場・地域の支え合い。
ボランティアやNPO、国内外の支援が命をつなぐ。

03

制度で命を守る

法律や制度は大きな支えとなる一方で“線引き”を生む。
制度を現場で機能させる・教訓伝承を支える。
更新し続けることが次の命を守る。